**令和５年度ブロック研修会報告書**

令和５年１２月２０日

全国保健師長会事務局　辻 宛て

E-mail　info-phn@jpha.or.jp

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　北関東・甲信越　ブロック

令和５年度ブロック研修会の実施結果について、下記のとおり報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 研修テーマ | 未来を創造する公衆衛生看護活動の展開  ～保健師活動の原点から住民とともに創る未来～ |
| 研修の概要 | １　日　　時　令和５年９月２日（土）１３時３０分～１６時  ２　開催方法　ハイブリッド形式  ３　参加者数　１５１人　（参集　５８人　　オンライン　９３人）  ４　内　　容  （1）全国保健師長会活動報告　　　　　　　　　　　　松本　珠実　会長  （2）保健師活動実践報告  報告１「桐生市の妊娠期から子育て期の母子を支える切れ目のない支援」  　　群馬県桐生市子どもすこやか部子育て相談課　　　　久保　明子　氏  報告２「地域包括ケア促進のための組織再編成  ～包括的支援体制づくりにおいて保健師に求められること～」  新潟県糸魚川市市民部福祉事務所　地域包括ケア係  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　山岸　千奈美　氏  報告３「コロナ禍での保健活動をふり返って、これからの保健師人材育成を考える」  長野県長野市保健所健康課真島保健センター　　　　鎌田　洋子　氏  （3）グループワーク  テーマ：「保健師活動の転換期における人材育成  ～原点を見直し、これからを考える～」 |
| 意見交換の  内容など | ○全国保健師長会の報告では、歴史、活動内容（調査・研究・国への要望等）を直接聞くことができ理解が深まった。今後の活動に参考となる内容でありとてもよかった。非会員の参加者からも活動内容を知ることができて良かったとの意見があり、会員を増やす方法としても良い。  ○実践報告では、他自治体の具体的な取り組みを聞くことで、自分の自治体の課題を振り返ることができ、課題解決に向けた具体的な話が大変参考になった。仕事に向かう元気をいただいた、活動意欲がわいてきたという意見や保健師自身のメンタルヘルスをサポートすることの大切さについて学ぶことができた。  ○グループワークでは、人材育成の課題が同じであるということを共有でき、他の自治体の人材育成の状況が聞けて参考になった。課題解決まではできなかったが、取り組みについて共有ができざっくばらんに情報交換ができ有意義な時間だった。  ○初めてのハイブリット形式での開催でしたが、参集した方は顔を合わせて話ができてよかった。オンラインでもGWでの情報交換ができるとわかってよかった。 |
| 報告者 | 所属・氏名： 群馬県高崎市役所福祉部介護保険課　矢治　香理  電話番号：　027-321-1242  アドレス：　[yaji2227@takasaki.city.ne.jp](mailto:yaji2227@takasaki.city.ne.jp) |